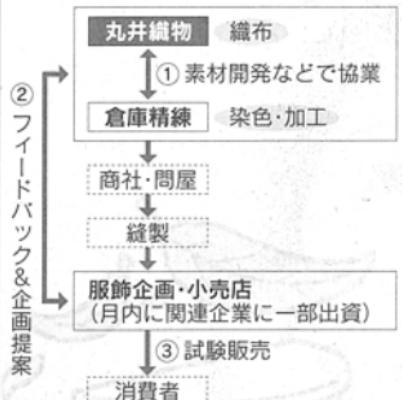


スボーソウエア生地メーカーの丸井織物(石川県中能登町)が、染色・加工を手掛ける倉庫精練へのT.O.B.(株式公開買付け)による子会社化を手始めに出資攻勢に乗り出す。月内には服飾企画会社にも一部出資することで合意。織布と染色の技術で競争力の高い素材を生み出しつつ、消費者とのチャネルも確保。提案型ファブリックマークとしてのさらなる成長を目指す。

「極めて難しい案件だった」。丸井織物の宮本徹社長は、昨年11月に倉庫精練の株式の引き受け打診された際の感想をこう語る。持ち込んだのは北国銀行。倉庫精練の社長、会長を長年務めた

## 丸井織物、染色や服飾企画に

丸井織物は出資先との連携を商品や素材の提案に生かす



織布・染色技術を組み合  
わせ(石川県中能登町)



故西川文平氏の親族らの意向を受けてのことだ。12月上旬から倉庫精練側と接触したが、業績が低迷し赤字経営に陥っていることもあり、年内には決断できなかった。ただ、染色・加工工程

を自前で一から手掛けるには設備や工場、技術の面でハードルが高い。倉庫精練を取り込めば、必ず4月末に上場廃止期限が迫る倉庫精練側にとっても、同じ結果が見えていた。同じ織維の分野で技術開発に積極的な丸井織物は「最良の選択肢」(宮本社長)。本社長

# 出資攻勢 素材開発挑む

丸井織物側は人材獲得や顧客のつなぎとめなどの面も勘案。倉庫精練の上場を維持できるよう、T.O.B.価格は直近半年の高値平均より2割高い1株148円とし

た。丸井織物の他社への出資はこれにとどまらない。店舗での小規模な販売を手掛ける服飾企画会社に対しても年内に一部出資することで合意。自社のネットサービスの拡充につながるIT(情報技術)系企業への出資も検討している。

目指す姿はこうだ。出資する服飾企画会社から提案を取り入れ、倉庫精練を含む染色・加工会社と共同で高機能の生地を開発。その生地を使う

衣服を試験販売した結果得や顧客のつなぎとめななどの面も勘案。倉庫精練の上場を維持できるよう、T.O.B.価格は直近半年の高値平均より2割高い1株148円とし

た。丸井織物側は人材獲得や顧客のつなぎとめななどの面も勘案。倉庫精練の上場を維持できるよう、T.O.B.価格は直近半年の高値平均より2割高い1株148円とし

## 自社ブランドで成長描く

時価総額が基準に満たない。丸井織物の宮本徹社長は、「スボーソウやカジュアルなど幅広い分野で新たな素材開発につながる」と映る。

福井支局0766-423322-34496311

金沢支局0766-423322-34496311

北陸経済

丸井織物側は人材獲得や顧客のつなぎとめななどの面も勘案。倉庫精練の上場を維持できるよう、T.O.B.価格は直近半年の高値平均より2割高い1株148円とし

た。丸井織物側は人材獲得や顧客のつなぎとめななどの面も勘案。倉庫精練の上場を維持できるよう、T.O.B.価格は直近半年の高値平均より2割高い1株148円とし